

【総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
心理学		選択	2	2	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
石井 新	なし	kango	随時 Teams で質問等受付		
授業の目的・概要	<p><目的>心理学の全体像を理解し、自己理解、他者理解に生かせるようにすることを目的とする。日常生活、ひいては看護過程に応用するための基礎的理解を身につけることが目標である。</p> <p><概要>同時双方向授業(遠隔授業)で展開する。心理学の各領域を概観し、自己理解、対人援助に応用できるよう具体例を交えて解説する。精神看護の基礎としても役立つように構成する。Teamsを用いた双方向授業(擬似ディスカッション)を通して理解を深める。</p>				
授業形式・方法	<input type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	<p>発言を求めながら進めるので、積極的に参与すること。</p> <p>講義中の質問・疑問・関心・感想はその都度発言し、授業内で消化すること。</p> <p>体験は人それぞれなので、自分の固有の体験に正直になり、学びにすることが重要である。</p>				
教科書	<ul style="list-style-type: none"> ・よくわかる心理学(やわらかアカデミズム・〈わかる〉シリーズ)編：無藤隆他/ミネルヴァ書房 ・心理学 新板(New Liberal Arts Selection)/著：無藤隆他/有斐閣 ・公認心理師の基礎と実践 第2巻 心理学概論 /編：繁研算男 /遠見書房 				
参考書	なし				
外部教材	なし				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	心理学の諸分野の基本的な概念を理解し、体系的に説明できる。		HSU(2)		
②	心理学に基づく対人援助の方法と実際について理解し、体系的に説明できる。		HSU(3)		
③	本講義で習得した内容を自分の経験と結びつけ、自分の専門性に応用できる。		HSU(1)(5)(6)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	オリエンテーションを行う。 心理学概論・歴史について学ぶ。	同時双方向型授業	受講の意志を明瞭にする。授業後にコメントシートを提出する。	2	
2	知覚について学ぶ。	同時双方向型授業	授業後にコメントシートを提出する。	4	
3	認知について学ぶ。	同時双方向型授業	授業後にコメントシートを提出する。	4	
4	学習について学ぶ。	同時双方向型授業	授業後にコメントシートを提出する。	4	
5	言語について学ぶ。	同時双方向型授業	授業後にコメントシートを提出する。	4	
6	研究法について学ぶ。	同時双方向型授業	授業後にコメントシートを提出する。	4	
7	感情について学ぶ。	同時双方向型授業	授業後にコメントシートを提出する。	4	
8	パーソナリティについて学ぶ。	同時双方向型授業	授業後にコメントシートを提出する。	4	
9	脳・神経の働きについて学ぶ。	同時双方向型授業	授業後にコメントシートを提出する。	4	
10	社会・集団について学ぶ。	同時双方向型授業	授業後にコメントシートを提出する。	4	
11	心の発達について学ぶ。①	同時双方向型授業	授業後にコメントシートを提出する。	4	
12	心の発達について学ぶ。②	同時双方向型授業	授業後にコメントシートを提出する。	4	
13	心理状態の観察及び結果の分析について学ぶ。	同時双方向型授業	授業後にコメントシートを提出する。	4	
14	臨床心理学・心理支援について学ぶ。	同時双方向型授業	授業後にコメントシートを提出する。	4	
15	精神病理について学ぶ。	同時双方向型授業	授業後にコメントシートを提出する。	6	
試	レポート試験 達成度評価・評価のポイントを参照				

【総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

		達成度評価						
総合評価割合(%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計	
総合力指標	知識・技術力	0	70	0	0	30	100	
	思考・推論・創造する力	0	10	0	0	10	20	
	思考・推論・創造する力	0	10	0	0	0	10	
	協同性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0	
	発表・表現伝達する力	0	10	0	0	10	20	
	コミュニケーション力	0	10	0	0	0	10	
取組みの姿勢・意欲	0	10	0	0	0	10		
問題を発見・解決する力	0	20	0	0	0	30		
評価のポイント								
評価方法	行動目標	評価の実施方法及び注意点					フィードバックの方法	
試験	①							
	②							
	③							
レポート	①	✓	理解度を問う応用問題などから構成される。知識を用いて思考、表現ができているかどうか、学生固有の体験から学ぶことができているかを評価する。また、具体的に丁寧に書かれているかどうかを評価する。					レポートを返却し、フィードバックを行う。
	②	✓						
	③	✓						
成果発表	①							
	②							
	③							
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
その他	①	✓	毎回の授業後にコメントシートを記入する。具体的に丁寧に書かれているか、自分の日常の体験と繋いで理解できているかを評価する。(2点×15回=30点)					必要に応じて次回の授業で補足する。
	②	✓						
	③	✓						
備 考								
他担当教員	なし							
教員の実務経験	心理相談員として7年、公認心理師として2年の臨床経験を有する。							
実践的授業の内容	Microsoft Teams を用いて、発言やチャットを随時求めながら双方向的に授業を展開する。個人情報に配慮しつつ、事例などを用いて具体的なイメージを伝えながら知識を学ぶ。							
その他	授業に参加し、自ら学ぶことが求められる。その点を理解の上受講すること。 Microsoft Teams を用いた同時双方向型授業を行う。 課題ダウンロードなどを行うので授業時は通信容量が無制限のWi-Fi環境を奨励する。							